

第1回公共交通についての住民意見交換会まとめ

意見交換会開催日程

月日	地区名	参加人数
7/4	佐治地区座談会(口佐治振興協議会)	11名
7/5	佐治地区座談会(中佐治自治会)	16名
	用瀬地区座談会(用瀬地区)	8名
7/6	佐治地区座談会(第3区振興推進協議会)	21名
	用瀬地区座談会(大村地区)	17名
7/8	佐治地区座談会(山王振興協議会)	21名
	用瀬地区座談会(社地区)	18名
8/19	河原地区意見交換会(散岐地区)	20名
8/22	河原地区意見交換会(八上地区)	14名
8/23	河原地区意見交換会(国英地区)	20名
8/27	河原地区意見交換会(西郷地区)	14名
8/30	河原地区意見交換会(河原地区)	23名

計 203名

※アンケート回答件数(佐治地区のみ) 17件

各地区のおもな意見

佐治地区

- ◆鳥取まで出るのに、幹線とは乗継ぎになるのか？
⇒用瀬においての乗継ぎになる。乗り継ぎに際しては、初乗り運賃の負担軽減を検討することとされている。
- ◆支線と幹線の乗継は、冬の時期に待つのはつらいので、待ち時間がないようにしてほしい。
⇒待ち時間がなくスムーズな乗継となるよう拠点整備を予定している。
- ◆以前より、津無地区より予約型乗合タクシーを運行してほしいという意見がある。
⇒いろいろな意見をいただき各地域に合った運行計画を作成したい。
- ◆もし学校が統合されたらどうなるのか？
⇒小・中学校の通学便については、第一に確保する。
- ◆遅い時間のバスがあれば、お酒を飲んだ時にバスで帰れる。需要はあると思う。
⇒検討していきたい。
- ◆国・県・市の補助金を抑えて、収支のバランスを考えてほしい。税金を使うのを抑えてバスの利便性をあげてほしい。
⇒バスを使っていただくことが、収支のバランスを保つことに繋がるのでご利用をお願いしたい。

用瀬地区

- ◆社地区まで幹線を運行しないと子供たちが不便になる。
⇒児童の通学便は最優先に確保する。子供たちに関しては、困らないようにダイヤ運行を考えていきたい。
- ◆予約型乗合タクシーの運賃は路線バスと同じか？
⇒具体的な金額は決まってないが、現状よりも高くすることは考えていない。
- ◆乗継をするのに料金はどうなる？
⇒乗継割引を考えていきたい。今の料金より高くないように考えていきたい。

河原地区

- ◆和奈見は路線バスが運行されておらず子供の通学便を確保してほしい。
国英地区にはバスが運行されていない。河原郡家間のバス運行を望む。
⇒いただいたご意見をもとに、各地域に合った運行計画を作成し、10月～11月にかけて運行計画の提案をさせていただきたい。
- ◆幹線沿いの集落であっても、拠点でのみの乗降となると今までよりも不便になる。各バス停でも停車する幹線の便も必要ではないか。
⇒幹線沿いの集落の利便性も十分考慮しながら検討していきたい。
- ◆朝夕を除いては、バスに人が乗っていないので大型バスを小型にしてはどうか。
⇒需要に応じた車両を検討したい。例えば、通勤通学時間帯は需要が見込まれるため大型バスが必要と考えている。一方、日中に支線を運行する車両は、小型バスやタクシー車両等の活用が想定される。
- ◆既存のバス事業者だけでなく市の運営等も考慮してはどうか。
⇒運行主体は、既存の地域のタクシー事業者やNPO等が実施する過疎地有償運送等、地域に適した運行主体を検討したい。
- ◆市立病院に行く場合、乗継をしなければならないのか。
⇒市立病院への運行については用瀬、佐治地域からも運行の要望をいただいている。幹線は市立病院経由のルートも設定する検討をしているが、支線は各集落から乗り継ぎ拠点までの運行を予定しているため乗継が必要となる。
- ◆乗継は抵抗がないようにしてほしい。
⇒乗継抵抗を緩和するため、待ち時間がなくスムーズな乗継となるようバリアフリー対応の乗継拠点整備を予定している。